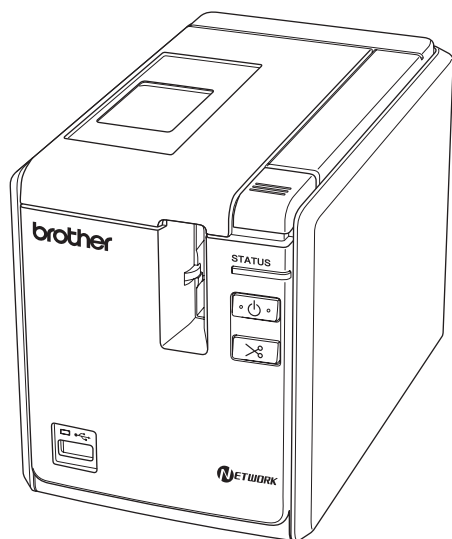


PT-9800PCN

画面で見るマニュアル(ネットワーク設定ガイド)



第1章 はじめに

第2章 ネットワークの設定

第3章 ネットワーク印刷機能

第4章 こんなときは

第5章 付録

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 「第4章 こんなときは」で調べる

2 サポート ブラザー 検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
<http://solutions.brother.co.jp/>

3 お客様相談窓口で相談 [ブラザーコールセンター] ☎ 0120-590-383

受付時間 9:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00
※日・祝祭日及び当社休日を除く
(ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。)

第1章 はじめに1-1

ネットワークで使う前に1-2

ネットワークの概要..... 1-2

- 概要..... 1-2
- 特長と機能..... 1-2

ネットワークの接続方法を決める 1-4

IP アドレスを決める 1-6

- TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる
必要があります 1-6
- IP アドレスとは 1-7
- IP アドレスの決め方 1-8

ネットワーク接続に必要な環境を整える 1-9

- 準備するもの 1-9

第2章 ネットワークの設定2-1

ネットワークプリンターの設定をする2-2

概要..... 2-2

操作パネルを使用する2-3

ネットワーク設定をリセットする 2-3

プリンター設定一覧を印刷する 2-4

BRAdmin Light で設定する2-5

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する 2-5

- ネットワークプリンターを設定する 2-5
- プリントサーバーの設定を変更する 2-9

ウェブブラウザで管理する2-10

概要..... 2-10

ウェブブラウザでプリントサーバーの設定を変更する 2-11

第3章 ネットワーク印刷機能3-1

ネットワークプリンターとして使う (Windows®)3-2

LPR で印刷する 3-2

- プリンタードライバーをまだインストールしていない場合 3-2
- プリンタードライバーがすでにインストールされている場合 3-10

ネットワークプリンターとして使う (Macintosh®)3-12

概要..... 3-12

Macintosh® プリンタードライバーを使う 3-12

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

第4章 こんなときは.....4-1

トラブルシューティング4-2

概要..... 4-2

一般的な問題..... 4-2

• CD-ROM を挿入しても自動的に開始しない (Windows® のみ) 4-2

• 本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする方法..... 4-2

接続と設定の問題..... 4-3

• ネットワークの接続と設定を確認する..... 4-3

印刷の問題..... 4-5

プロトコル固有の問題..... 4-6

• TCP/IP のトラブルシューティング..... 4-6

• ウェブブラウザのトラブルシューティング..... 4-7

ファイアウォールの問題..... 4-8

• Windows Vista®, Windows® 7 の場合..... 4-8

• Windows® XP Service Pack2 以降の場合..... 4-11

• アンチウイルスソフトの問題..... 4-12

第5章 付録.....5-1

ユーティリティ以外から IP アドレスを設定する5-2

概要..... 5-2

IP アドレスの設定方法..... 5-3

BRAdmin Professional で管理する5-5

BRAdmin Professional をインストールする..... 5-5

ネットワークの設定をする..... 5-6

オートマティックドライバーストローラーを使う (Windows® のみ)5-8

オートマティックドライバーストローラーが対応するプリンターの

接続方法..... 5-8

オートマティックドライバーストローラーを使用する..... 5-10

その他のプリンタードライバーストローラーのインストール方法5-12

ネットワークプリンターキューと共有を使用する..... 5-12

仕様.....5-13

プリントサーバー..... 5-13

動作環境..... 5-14

管理ユーティリティ..... 5-14

オープンソースライセンス公開.....5-15

Open SSL について..... 5-15

用語集と索引.....5-17

用語集..... 5-17

索引..... 5-20

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

本書で使われているマーク・表記について

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

● マークについて

	本製品をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。

● 商標について

本文中では、オペレーティングシステム名称を略記しています。

Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

Windows Server® 2003 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating system です。

Windows Server® 2008 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating system です。

Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。

Windows® 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating system です。

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、Apple のロゴ、Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の商標です。

Adobe、Adobe ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Intel、Intel Core、Pentium、Intel Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Ethernet は、Xerox Corporation の商標です。

UNIX は UNIX Systems Laboratories の商標です。

Mozilla、Firefox、Firefox ロゴは、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

● 編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

● 表記について

- 本書では、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition を総称して、Windows® XP と表記しています。
- 本書では、Windows Server® 2003 の表記は、Windows Server® 2003 x64 Edition を含みません。
- 本書では、Windows Server® 2008 の全てのエディションを総称して、Windows Server® 2008 と表記しています。
- 本書では、Windows Vista® の全てのエディションを総称して、Windows Vista® と表記しています。
- 本書では、Windows® 7 の全てのエディションを総称して、Windows® 7 と表記しています。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

第 1 章

はじめに

ネットワークで使う前に..... 1-2

ネットワークの概要	1-2
ネットワークの接続方法を決める	1-4
IP アドレスを決める	1-6
ネットワーク接続に必要な環境を整える	1-9

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ネットワークで使う前に

ネットワークの概要

● 概要

本製品は、ネットワーク対応プリントサーバーを内蔵しており、10/100BASE-TX 有線ネットワーク上で共有することができます。プリントサーバーは、TCP/IP プロトコルをサポートする Windows® XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®, Windows® 7 と、TCP/IP をサポートする Macintosh® のための印刷サービスを提供します。次の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

オペレーティングシステム (OS)	10/100 BASE-TX 有線 LAN (TCP/IP)	印刷	BRAdmin Light	BRAdmin Professional * 1	ステータス モニター	ドライバーの追加 ウィザード
Windows® XP	○	○	○	○	○	○
Windows Vista®						
Windows® 7						
Windows Server® 2003/2008						
Windows Server® 2008 R2	○	○	○	○	○	○
Mac OS® X 10.3.9 以降	○	○	○		○	

* 1 BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://solutions.brother.co.jp/>）よりダウンロードしてください。

● 特長と機能

ネットワーク印刷

本製品は、TCP/IP プロトコルをサポートしている Windows® XP、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista® また TCP/IP をサポートしている Macintosh®（Mac OS® X 10.3.9 以降）の印刷サービスを提供しています。

管理ユーティリティ

● BRAdmin Light

BRAdmin Light は、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定ができます。

付属 CD から、BRAdmin Light をインストールしてください。

● BRAdmin Professional (Windows® のみ)

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。Windows® システムが稼動するパソコンからネットワーク上のブラザー製品の検索、状態の閲覧、ネットワーク設定の変更ができます。

BRAdmin Professional は、BRAdmin Light の機能が拡張されています。詳しい情報とダウンロードについては、次の URL を参照してください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://solutions.brother.co.jp/>）

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

●ウェブブラウザ

パソコンにインストールされている標準ウェブブラウザを使用して本製品およびネットワーク設定を変更することができます。

詳細は、「ウェブブラウザで管理する」[P.2-10](#) を参照してください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ネットワークの接続方法を決める

本製品を各パソコンからネットワーク上で共有する場合、各パソコンから直接本製品と通信する「ピアツーピア接続」と、共有パソコンを経由して通信する「ネットワーク共有」があります。

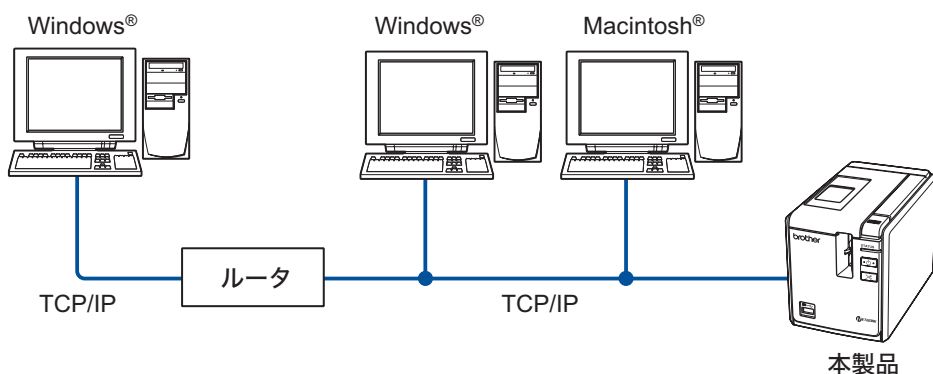


本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。

ネットワーク共有の設定方法については、オペレーティングシステム（OS）の共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。

ピアツーピア接続

ピアツーピア接続では、各パソコンが本製品（ネットワークプリンター）と直接データを送受信します。ファイルの送受信を操作するサーバーやプリントサーバーなどは必要ありません。各パソコンにプリンターポートの設定が必要です。



- パソコン 2, 3 台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をおすすめします。ネットワーク共有印刷については、[P.1-5](#) を参照してください。
- どのパソコンも、TCP/IP プロトコルを使用している必要があります。
- ネットワークプリンターに適した IP アドレスを設定する必要があります。
- ルータを使用している場合は、パソコンと本製品にゲートウェイアドレスを設定する必要があります。
- ネットワークプリンターは、Macintosh® と通信することもできます。（TCP/IP 互換動作環境）

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

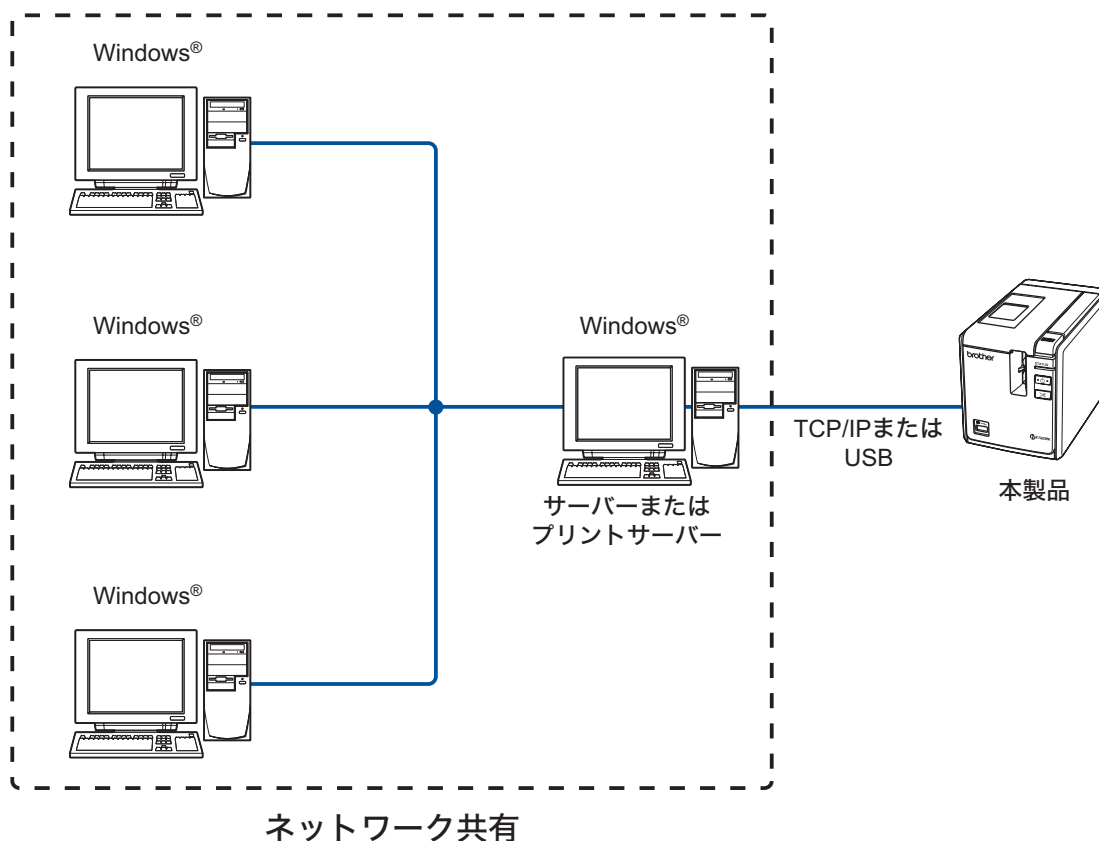
こんなときは

付録

ネットワーク共有

ネットワーク共有では、各パソコンが本製品（ネットワークプリンター）とデータを送受信するには、サーバーまたはプリントサーバーを経由する必要があります。このサーバーまたはプリントサーバーですべての印刷作業を制御します。

ネットワークプリンターに直接接続されているパソコンにのみプリンターポートを設定し、そのパソコンを経由して他のパソコンもネットワークプリンターを共有します。ただし、ネットワークプリンターに接続されているパソコンの電源が入っていないと、他のパソコンはネットワークプリンターを使用できません。



はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

- ・大規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷環境をおすすめします。
- ・サーバーまたはプリントサーバーは、TCP/IP 印刷プロトコルを使用してください。
- ・サーバーまたはプリントサーバーには、本製品に適した IP アドレスを設定する必要があります。
- ・ネットワークプリンターとサーバーを USB インターフェイスを経由して接続することもできます。

詳しい情報については、次の URL を参照してください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://solutions.brother.co.jp/>）



ネットワーク共有の方法についてはWindows®の共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。

IP アドレスを決める

● TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定

ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

● IP アドレス配布サーバーを利用している場合

本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられるとともに、RFC 1001 および 1002 対応ダイナミックネームサービスによって、名称が登録されます。

● IP アドレス配布サーバーを利用していない場合

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合は、APIPA (AutoIP) 機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light 等を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。



お買い上げ時の IP アドレス

IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下の通りです。

- ・ IP アドレス：169.254.xxx.xxx (APIPA 機能による自動割当)

現在の設定値を調べるときは、「プリンター設定一覧」を印刷します。詳しくは、「プリンター設定一覧を印刷する」[P.2-4](#) を参照してください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● IP アドレスとは

IP アドレスは、接続しているパソコンの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するパソコンなどの機器（ノード）には、必ず IP アドレスを割り当てる必要があります。

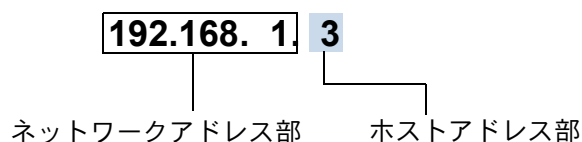
IP アドレスは、0 ～ 255 までの数字を「.（ピリオド）」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。

ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168. 1.3
255.255.255.0

IP アドレス
サブネットマスク

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された "0" と "255" を除いた 1 ～ 254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本製品を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。



予約されているアドレス

上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本製品に割り当てることはできません。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

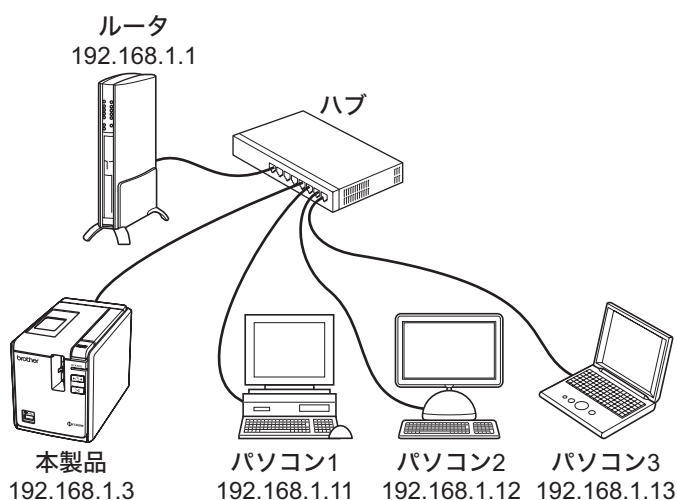
● IP アドレスの決め方

本製品を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。

ルータの LAN 側 IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本製品やパソコンにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～ 254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器の IP アドレスを設定してください。

例)

機器名 (ノード)	IP アドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1. 1	255.255.255.0
本製品	192.168.1. 3	255.255.255.0
パソコン 1	192.168.1.11	255.255.255.0
パソコン 2	192.168.1.12	255.255.255.0
パソコン 3	192.168.1.13	255.255.255.0



ネットワーク管理者がいるときは

事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できる IP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。



ネットワーク内にルータがあるときは

ルータにも IP アドレスが割り当てられています。その IP アドレスを本製品またはパソコンに設定しないでください。ルータの IP アドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ネットワーク接続に必要な環境を整える

本製品をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

● 準備するもの

● ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本製品とパソコン、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ 5E という規格のケーブルです。5E の E は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ 5E のケーブルはカテゴリ 5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。

また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルは ADSL モデムとパソコンの接続、パソコンとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは 2 台のパソコン同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は 10BASE-T/100BASE-TX とともに 100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

● ハブ

複数台のパソコンなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TX や 1000BASE-T に使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。

ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

● ルーター

ADSL や CATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスの LAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルーターを使用すると、接続した各機器に自動で IP アドレスを割り当てる DHCP 機能や、LAN 内の独自の IP アドレス（プライベート IP アドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用の IP アドレス（グローバル IP アドレス）を割り当てる NAT 機能があります。

さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

第 2 章

ネットワークの設定

ネットワークプリンターの設定をする2-2

概要2-2

操作パネルを使用する2-3

ネットワーク設定をリセットする2-3

プリンター設定一覧を印刷する2-4

BRAdmin Light で設定する2-5

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する2-5

ウェブブラウザで管理する2-10

概要2-10

ウェブブラウザでプリントサーバーの設定を変更する 2-11

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ネットワークプリンターの設定をする

概要

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IP の設定をする必要があります。
この章では、TCP/IP プロトコルを使用したネットワーク印刷するために必要な基本手順について説明します。

本製品をネットワークに接続するには、付属の CD-ROM 内のブラザーインストーラーを使用されることをおすすめします。「取扱説明書」の手順にしたがってプリンタードライバーのインストールを進めると、本製品をネットワークに接続することができます。

ネットワークを設定するには、次の方法があります。

● **BRAdmin Light** を使用する

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定ができます。詳細は、「BRAdmin Light で設定する」[P.2-5](#) を参照してください。

● **BRAdmin Professional** を使用する（Windows® のみ）

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。Windows® システムが稼動するパソコンからネットワーク上のブラザー製品の検索、状態の閲覧、ネットワーク設定の変更ができます。詳細は、「BRAdmin Professional で管理する」[P.5-5](#) を参照してください。

● **ウェブブラウザ** を使用する

パソコンにインストールされている標準ウェブブラウザを使用して本製品およびネットワーク設定を変更することができます。

詳細は、「ウェブブラウザで管理する」[P.2-10](#) を参照してください。

● **その他の設定方法** を使用する

他の方法を用いて、本製品を設定することができます。詳細は、「ユーティリティ以外から IP アドレスを設定する」[P.5-2](#) を参照してください

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

操作パネルを使用する

ネットワーク設定をリセットする

パスワードや IP アドレス情報など、すでに設定しているネットワークのすべての情報をリセットします。

APIPA (AutoIP) 機能を有効な状態でネットワーク設定をリセットする。

1 本製品の電源を切ります。

2 電源ボタンを押したままで **2 秒** 待ち、そのままフィード & カットボタンを **2 回** 押します。

すべてのネットワーク設定がリセットされます。



ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする他の方法

• BRAdmin Light または BRAdmin Professional (Windows® のみ) を使用できます。

P.5-5

• ウェブブラウザを使用する場合は、「ウェブブラウザで管理する」**P.2-10** を参照してください。

APIPA (AutoIP) 機能を無効な状態でネットワーク設定をリセットする。

1 本製品の電源を切ります。

2 電源ボタンを押したままで **2 秒** 待ち、そのままフィード & カットボタンを **4 回** 押します。

すべてのネットワーク設定がリセットされます。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

プリンター設定一覧を印刷する

本製品の設定値を一覧で表示した「プリンター設定一覧」を印刷します。



ノード名

プリンター設定一覧にはノード名が印刷されます。お買い上げ時のノード名は“BRNxxxxxxxxxxxxx”、です。

1

本製品の電源を切ります。

2

テープカセットがセットさせていることと、カセットカバーが閉じていることを確認します。

プリンター設定一覧を印刷するためには 24 mm 以上のテープカセットを使用します。

3

本製品の電源を入れます。

4

フィード & カットボタンを **3 秒以上**押し続けます。

プリンター設定一覧が印刷されます。



プリンター設定一覧を印刷する他の方法

- BRAdmin Professional (Windows® のみ) を使用できます。 **P.5-5**
- ウェブブラウザーを使用する場合は、「ウェブブラウザーで管理する」 **P.2-10** を参照してください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

BRAdmin Light で設定する

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

BRAdmin Light は、BRAdmin Professional (Windows® のみ) のいくつかの機能をサポートした、BRAdmin 簡易アプリケーションです。

BRAdmin Light のインストールについては、本製品に付属の「取扱説明書」を参照してください。

BRAdmin Light についての詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://solutions.brother.co.jp>）でもご参照いただけます。

● ネットワークプリンターを設定する

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。



ゲートウェイの設定

ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

• IP アドレス配布サーバーを利用している場合

本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

• IP アドレス配布サーバーを利用していない場合

DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合は、APIPA (AutoIP) 機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Light を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。



お買い上げ時の IP アドレス

IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下の通りです。

- IP アドレス：169.254.xxx.xxx (APIPA 機能による自動割当)

現在の設定値を調べるときは、「プリンター設定一覧」を印刷します。詳しくは、「プリンター設定一覧を印刷する」[P.2-4](#) を参照してください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録



- Windows® XP で、「インターネット接続ファイアウォール (Windows® ファイアウォール)」を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定してください。(Windows® XP Service Pack 2 以降をお使いのお客様は、BRAdmin Light のインストール時に、Windows® ファイアウォールの例外として BRAdmin Light を追加すれば、Windows® ファイアウォール機能を無効にする必要はありません。)
詳しい設定方法については「Windows® XP Service Pack2 以降の場合」[P.4-11](#) を参照してください。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Light の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。



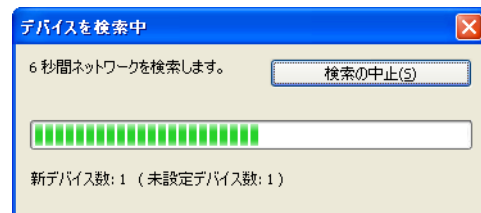
メモ ノード名
お買い上げ時のノード名は、“BRNxxxxxxxxxxx”です。

Windows® の場合

1

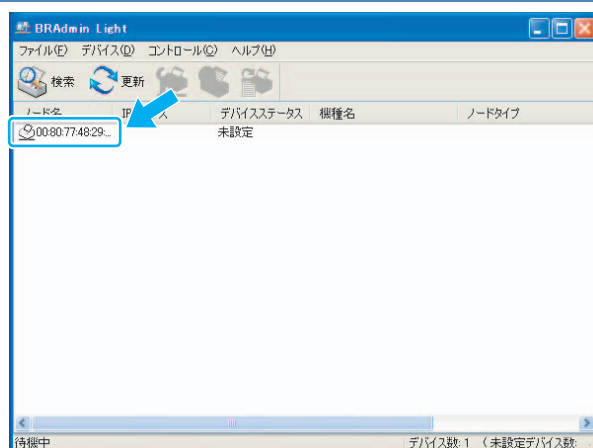
【スタート】メニューから【すべてのプログラム (プログラム)】－【Brother】－【BRAdmin Light】－【BRAdmin Light】の順にクリックして、**BRAdmin Light** を起動します。

自動的に新しいデバイスの検索が開始されます。



2

新しいデバイスをダブルクリックします。



- ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェイスが表示されます。
- プリントサーバーのお買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。
- 新しいデバイスが表示されない場合は、[検索] をクリックしてください。

はじめに

ネットワーク
設定

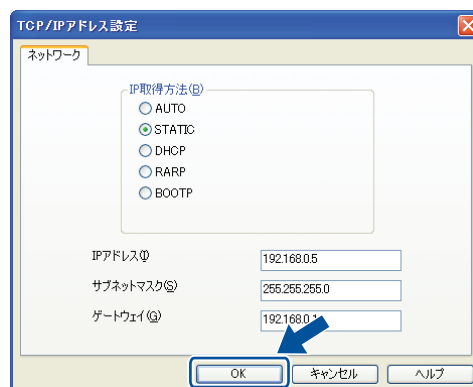
ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

3

「IP 取得方法」から **[STATIC]** を選びます。**[IP アドレス]** **[サブネットマスク]** **[ゲートウェイ]** を入力し、**[OK]** をクリックします。



4

アドレス情報が本製品に保存されました。

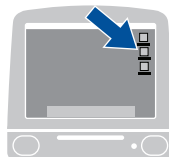
Macintosh® の場合



バージョン 1.4.1_07 以降の Java がインストールされている必要があります。

1

デスクトップの **[Macintosh HD]** アイコンをダブルクリックします。



2

[ライブラリ] – **[Printers]** – **[Brother]** – **[P-touch Utilities]** の順に選択します。



3

[BRAdmin Light.jar] をダブルクリックして、**BRAdmin Light** を起動します。



はじめに

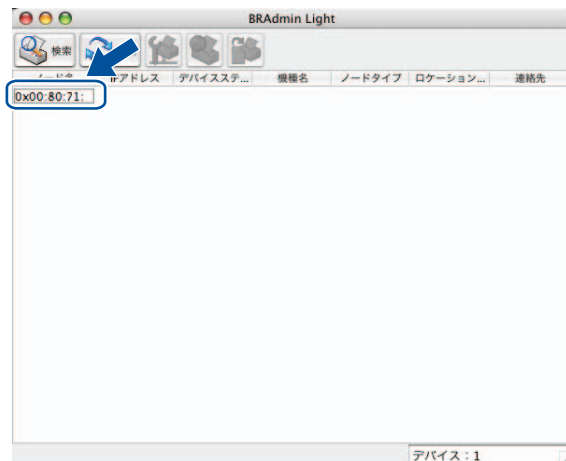
ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

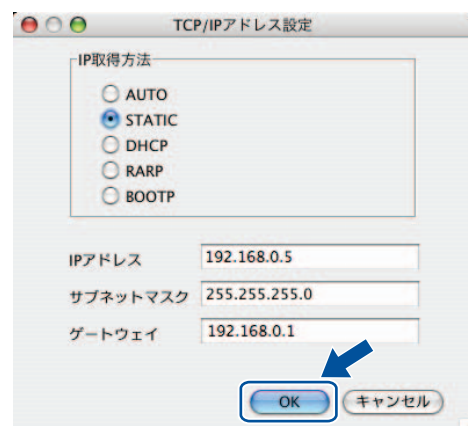
付録

4 新しいデバイスをダブルクリックします。



- ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本製品のネットワークインターフェイスが表示されます。
- プリントサーバーのお買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。
- 新しいデバイスが表示されない場合は、[検索] をクリックしてください。

5 「IP 取得方法」から [STATIC] を選びます。[IP アドレス] [サブネットマスク] [ゲートウェイ] を入力し、[OK] をクリックします。



6 アドレス情報が本製品に保存されました。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● プリントサーバーの設定を変更する

1 BRAdmin Light を起動します。

- Windows® XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®、Windows® 7 の場合
[スタート] メニューから [すべてのプログラム (プログラム)] - [Brother] - [BRAdmin Light] - [BRAdmin Light] の順にクリックします。
- Mac OS® X 10.3.9 以降の場合
デスクトップ上の [Macintosh HD] (起動ディスク) から [ライブラリ (Library)] - [Printers] - [Brother] - [P-touch Utilities] の順に開き、[BRAdmin Light.jar] をダブルクリックします。

2 設定を変更するプリントサーバーを選択します。

3 [コントロール] メニューから [ネットワーク設定] をクリックします。

4 パスワードを入力します。

お買い上げ時のパスワードは “access” に設定されています。

5 必要に応じて、プリントサーバーの設定を変更します。



Windows® をご使用の場合は、BRAdmin Professional を利用して、さらに詳細な設定ができます。P.5-5 BRAdmin Professional は、サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://solutions.brother.co.jp/>) からダウンロードできます。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ウェブブラウザで管理する

概要

標準のウェブブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）プロトコルを使用して、本製品を管理することができます。

ウェブブラウザは、ほとんどのコンピューティングプラットフォーム上で使用することができますので、Macintosh® のユーザーもウェブブラウザを使用して本製品を管理できます。



- Windows® の場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 2.0 以降、Macintosh® の場合は Safari 1.2 以降を推奨いたします。
- どのウェブブラウザの場合も、JavaScript およびクッキーを有効にして使用してください。
- ウェブブラウザを使用するには、プリントサーバーの IP アドレスが必要です。
- プリントサーバーのお買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

ウェブブラウザを使用して、次の操作が可能です。

- 本製品のステータス、設定、メンテナンスに関する詳細の取得
- 本製品とプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の取得
- 本製品の設定変更
- ネットワークの設定変更
- プリンター設定一覧、LAN 設定内容リストの印刷
- プリンター設定リセット
- ネットワーク設定リセット

●条件

- パソコンが TCP/IP プロトコルを使用可能なこと
- パソコンがネットワークに接続可能なこと
- 本製品とパソコンに有効な IP アドレスを設定していること

●設定の流れ

1. TCP/IP プロトコルによってパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザを起動し、アドレスに本製品の IP アドレスを入力します。**P.2-11**

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

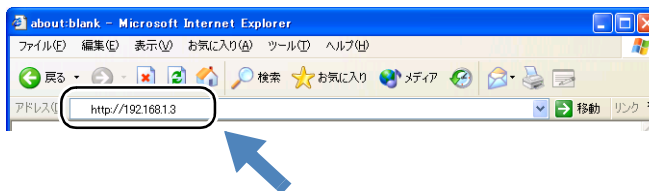
ウェブブラウザでプリントサーバーの設定を変更する

1 ウェブブラウザを起動します。

2 ウェブブラウザの入力欄に **http://ip_address** ([ip_address] はご使用になる 本製品の IP アドレス) を入力しま す。

例)

本製品のIPアドレスが192.168.1.3の場合
ブラウザに http://192.168.1.3 を入力し
ます。



hosts ファイルを編集した場合や、またはドメイン名システムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IP および NetBIOS をサポートしているため、本製品の NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名は、プリンター設定一覧 **P.2-4** に表示されます。NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字が割り当てられます。お買い上げ時の NetBIOS 名は、“BRNxxxxxxxxxxxx” です。

3 [ネットワーク設定] をクリックし ます。



4 [ユーザ名] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

5 必要に応じて、プリントサーバーの設定を変更します。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

第 3 章

ネットワーク印刷機能

ネットワークプリンターとして使う (Windows®)3-2

LPR で印刷する3-2

ネットワークプリンターとして使う (Macintosh®) ..3-12

概要3-12

Macintosh® プリンタードライバを使う3-12

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ネットワークプリンターとして使う (Windows®)

LPR で印刷する

「取扱説明書」の手順にしたがってドライバーのインストールを進めると、自動的にネットワークの設定が完了します。ブラザーインストーラーを使わずにプリンタードライバーのみインストールする場合は、以下の手順で設定してください。

標準でインストールされている TCP/IP というプロトコルを使用して、本製品をネットワーク上で利用できます。

● プロトコルとは

パソコン間の通信のルールです。

ネットワークにはさまざまなパソコンが接続されているため、それらの通信形式が違えばお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP とは

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。

TCP/IP は、ファイルやプリンターの共有も行うことができます。ネットワーク内では、パソコンなどの機器の特定に IP アドレスが使用されています。

● プリンタードライバーをまだインストールしていない場合

「プリンタの追加ウィザード」で本製品へのポートの追加とプリンタードライバーのインストールを行います。

すでにパソコンへプリンタードライバーをインストールしている場合は、「プリンタードライバーがすでにインストールされている場合」[P.3-10](#) を参照してください。



- この章の内容を操作する前に、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。詳細については、「第 2 章 ネットワークの設定」を参照してください。
- ブラザープリントサーバーのお買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。
- “ホストコンピュータと本製品が同じサブネット上にあるか”、または“ルータが 2 つのデバイス間で正しくデータのやり取りができるように設定されているか”のどちらかを確認してください。

Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2008 の場合

画面は Windows Vista® のものです。



1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

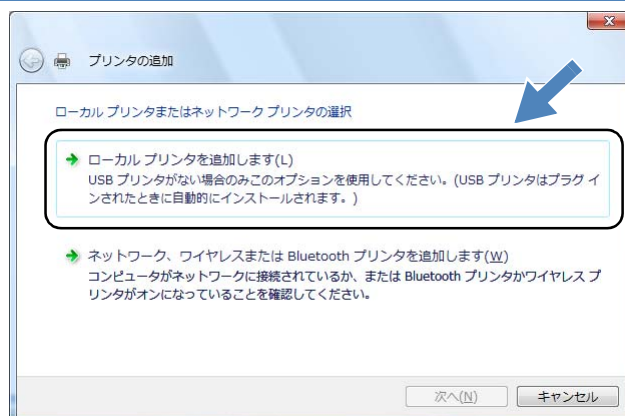
2 Windows Vista®、Windows Server® 2008 の場合 「プリンタのインストール」をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

Windows® 7、Windows Server® 2008 R2 の場合 メニューバーの上にある「プリンターの追加」をクリックします。

「プリンターの追加ウィザード」が表示されます。

3 「ローカルプリンタを追加します」 をクリックします。



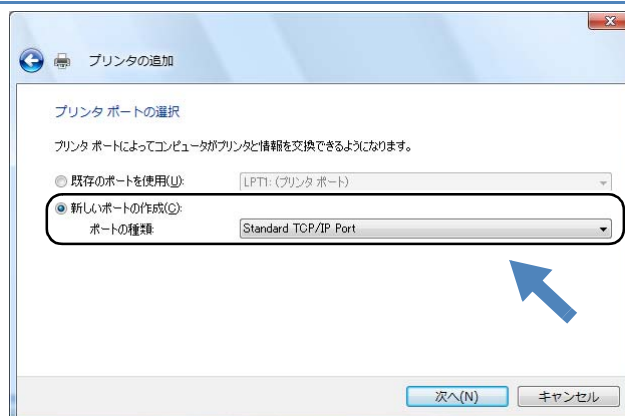
はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

4 「新しいポートの作成」を選択し、 「ポートの種類」から「Standard TCP/IP Port」を選択します。



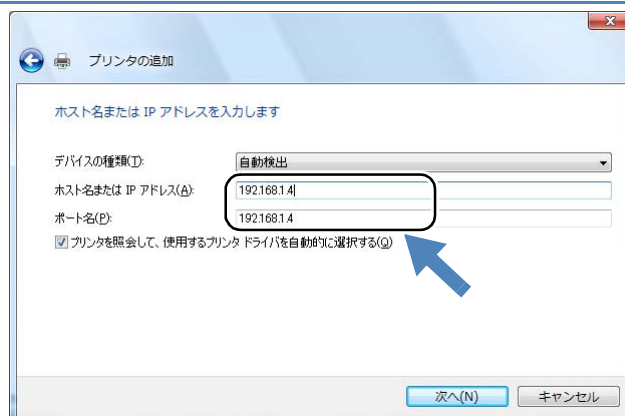
5 「次へ」をクリックします。

6 本製品の「ホスト名または IP アドレス」 を入力します。

「ポート名」は自動的に入力されます。

例) 192.168.1.4 の場合

IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に [192.168.1.4] が入力されます。





本製品の IP アドレスが DHCP など自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをおすすめします。本製品のノード名は、BRAdmin Light **P.2-5** またはプリンター設定一覧 **P.2-4** で確認できます。

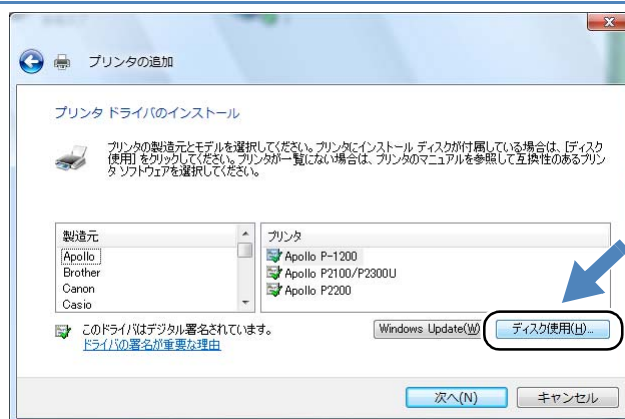
7

【次へ】をクリックします。

入力した本製品名または IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。正しい内容を入力し直してください。

8

【ディスク使用】をクリックします。



はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

9

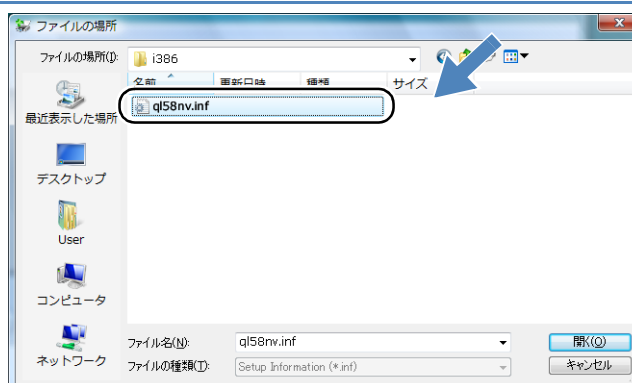
付属の **CD-ROM** をパソコンの **CD-ROM** ドライブにセットし、【参照】をクリックします。

10

「ファイルの場所」から **CD-ROM** ドライブを選択し、本製品のプリンタードライバーの保存フォルダーを選択します。

ただし、PC の種類 (32bit, 64bit) によって選択するフォルダーが異なるので、32bit PC 使用者: x86 フォルダー、64bit-PC 使用者: x64 フォルダーを選択してください。

X: ¥JPN ¥Drivers ¥PT-9800PCN ¥x86
or x64 ¥Driver ¥i386 or x64
(X は CD-ROM ドライブ)



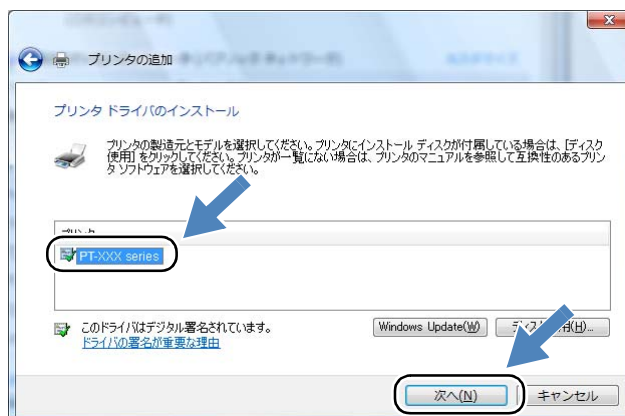
11

【開く】をクリックします。

12

【OK】をクリックします。

13 プリンターのリストから本製品を選択し、[次へ] をクリックします。

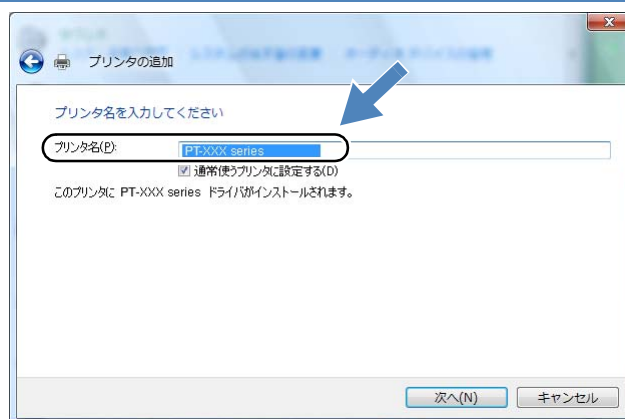


メモ

- パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタードライバーを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタードライバーがインストールされている場合は、現在のドライバーを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
「現在のドライバを使う（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。

14 必要に応じて、「プリンタ名」を変更します。

例) ブラザーネットワークプリンタ



メモ

- 「ユーザアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。
- 「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」という警告メッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックし、インストールを続けます。

15 複数のプリンタードライバーがインストールされている場合は、本製品を通常使うプリンターに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。

※お使いの OS によっては、選択する必要がないことがあります。

16 [完了] をクリックします。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

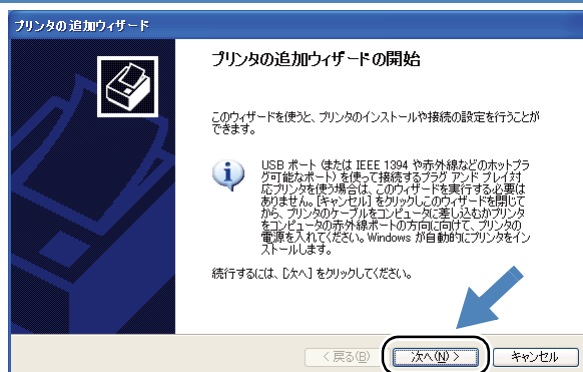
付録

Windows[®] XP、Windows Server[®] 2003 の場合

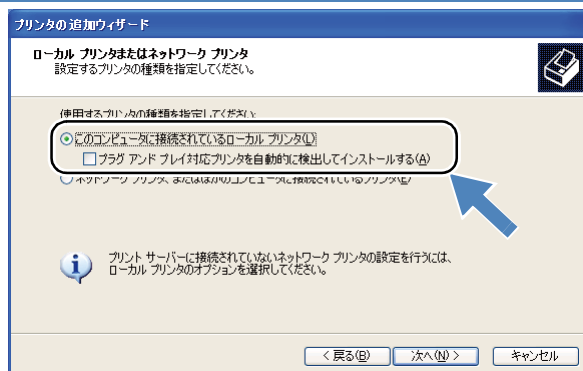
- 1 「[スタート] メニューから [プリンタと **FAX**] を選択し、「プリンタのインストール」をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

- 2 「次へ」をクリックします。

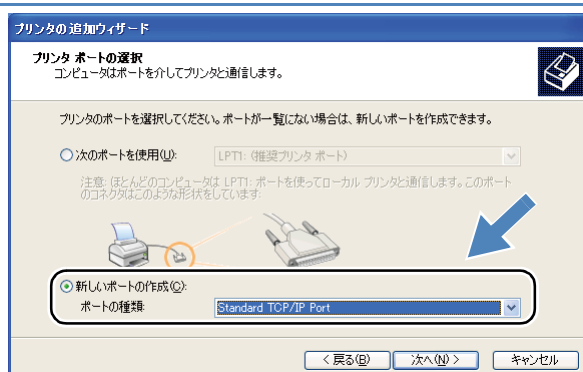


- 3 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」をクリックし、「プラグ アンド プレイ対応 プリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスを外します。



- 4 「次へ」をクリックします。

- 5 「新しいポートの作成」をクリックし、「ポートの種類」から「**Standard TCP/IP Port**」を選びます。



- 6 「次へ」をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

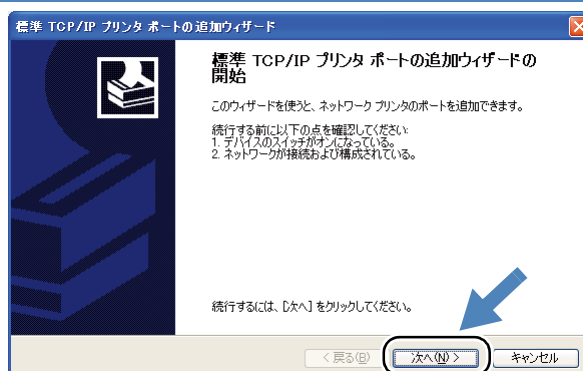
はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

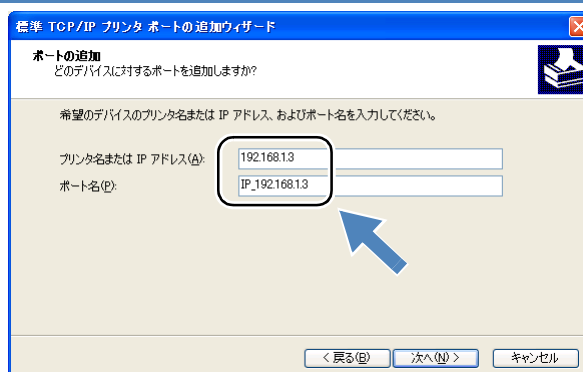
7 「次へ」をクリックします。



8 本製品の「プリンタ名または IP アドレス」を入力します。

「ポート名」は自動的に入力されます。

例) 192.168.1.3 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に [IP_192.168.1.3] が入力されます。



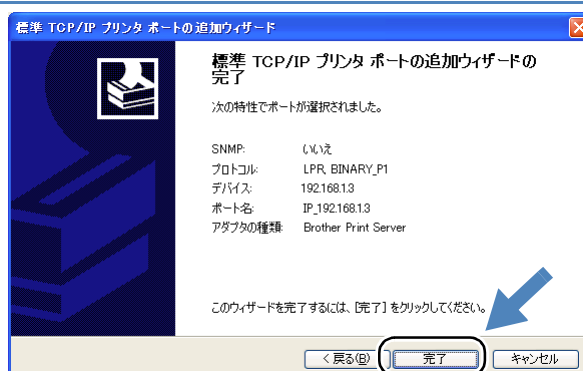
本製品の IP アドレスが DHCP など自動的に割り当てられている場合は、IP アドレスが自動的に変更される場合があるため、ノード名で設定することをお勧めします。本製品のノード名は、BRAdmin Light **P.2-5** またはプリンター設定一覧 **P.2-4** で確認できます。

9 「次へ」をクリックします。

入力したプリンター名または IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。正しい内容を入力し直してください。

10 「完了」をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が終了し、「プリンタの追加ウィザード」に戻ります。



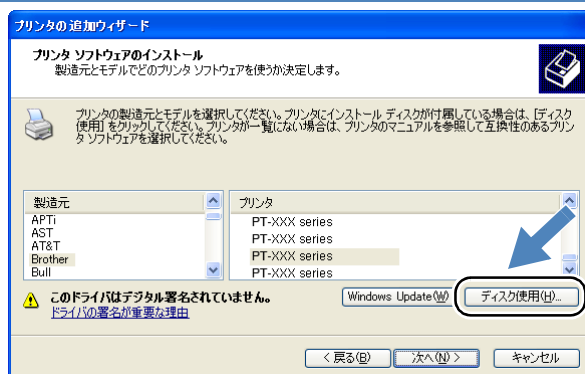
はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

11 「ディスク使用」をクリックします。

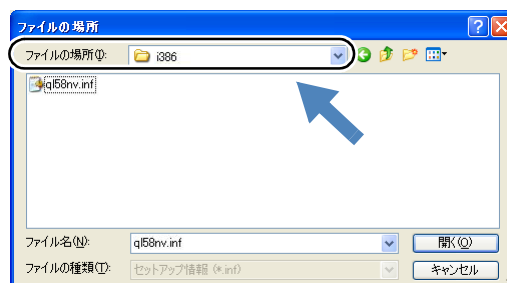


12 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[参照] をクリックします。

13 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選択し、本製品のプリンタードライバーの保存フォルダーを選択します。

ただし、PC の種類 (32bit, 64bit) によって選択するフォルダーが異なるので、
32bit PC 使用者: x86 フォルダー、64bit-PC 使用者: x64 フォルダーを選択してください。

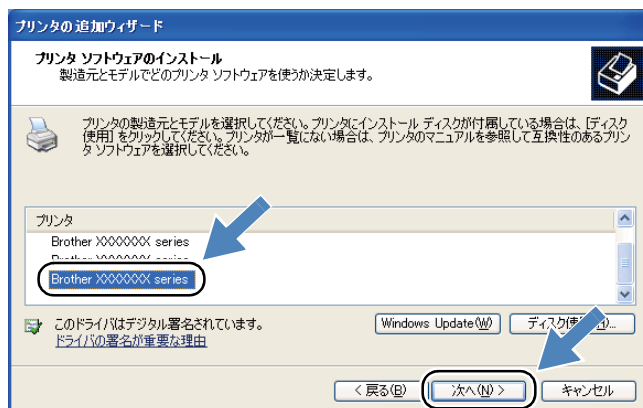
X: ¥JPN ¥Drivers ¥PT-9800PCN ¥x86
or x64 ¥Driver ¥i386 or x64
(X は CD-ROM ドライブ)



14 「開く」をクリックします。

15 「OK」をクリックします。

16 プリンターのリストから本製品を選択し、[次へ] をクリックします。



はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

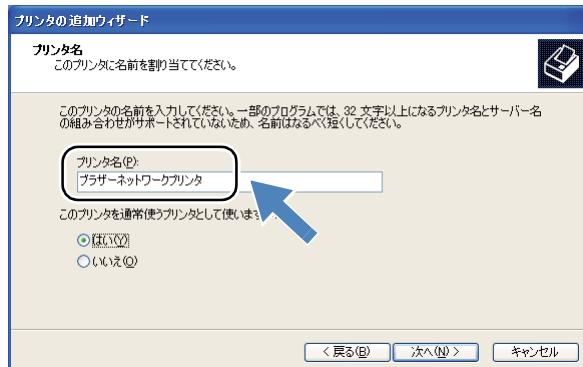


- パソコンがインターネットに接続されている場合は、[Windows Update] をクリックし、Microsoft 社のホームページからプリンタードライバーを直接ダウンロードすることもできます。
- すでにプリンタードライバーがインストールされている場合は、現在のドライバーを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
「現在のドライバを使う（推奨）」を選択し、[次へ] をクリックします。

17

必要に応じて、「プリンタ名」を変更します。

例) ブラザーネットワークプリンタ



はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

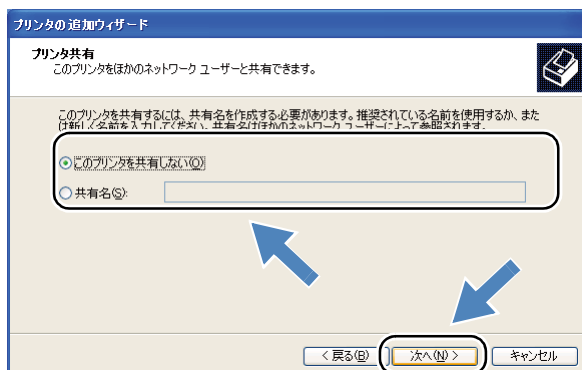
付録

18

複数のプリンタードライバーがインストールされている場合は、本製品を通常使うプリンターとして設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。

19

「プリンタ共有」の画面が表示された場合は、本製品を共有するかどうかを選択し、共有する場合は「共有名」を入力して、[次へ] をクリックします。

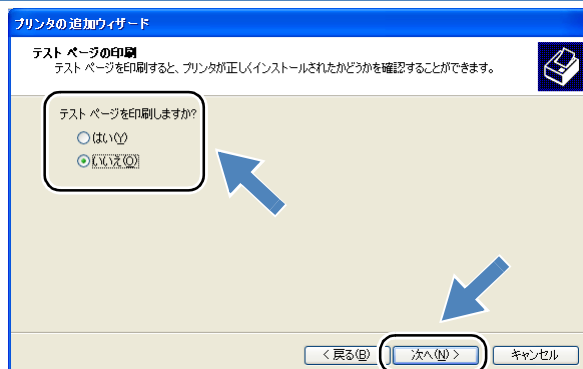


共有した場合は、必要に応じて「場所」と「コメント」を入力して、[次へ] をクリックします。

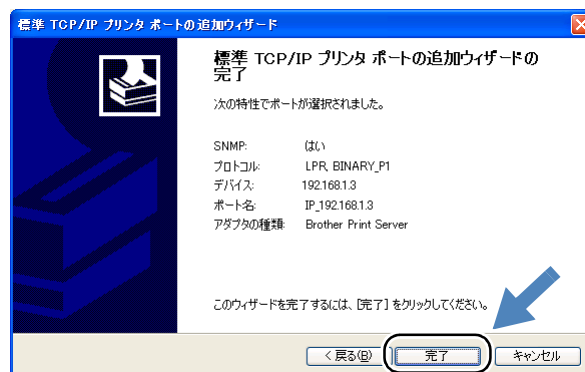
20

テストページを印刷するかの画面が表示されたら、[いいえ] を選択し [次へ] をクリックします。

- [はい] を選んだ場合は、用紙サイズの関係で印刷することができません。



21 [完了] をクリックします。



● プリンタードライバーがすでにインストールされている場合

以下の手順でポートの追加と本製品の関連付けをします。

Windows Vista[®]、Windows[®] 7、Windows Server[®] 2008 の場合

1 Windows Vista[®]、Windows Server[®] 2008 の場合

[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

Windows[®] 7、Windows Server[®] 2008 R2 の場合

[スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] をクリックします。

2 Windows Vista[®]、Windows Server[®] 2008 の場合

「**Brother PT-9800PCN**」のアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

Windows[®] 7、Windows Server[®] 2008 R2 の場合

「**Brother PT-9800PCN**」のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3 [ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。

4 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

5 [次へ] をクリックします。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

6 本製品の「ホスト名または IP アドレス」を入力します。

「ポート名」は自動的に入力されます。

例) 192.168.1.4 の場合

IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に [192.168.1.4] が入力されます。

7 「次へ」をクリックします。

入力したプリンター名または IP アドレスが間違っている場合はエラーメッセージが表示されます。正しい内容を入力し直してください。

8 「完了」をクリックします。

9 「プリンタポート」ダイアログボックスおよび本製品のプロパティ画面を閉じます。

Windows® XP、Windows Server® 2003 の場合

1 「スタート」メニューから「プリンタと FAX」をクリックします。

2 「Brother PT-9800PCN」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3 「ポート」タブをクリックし、「ポートの追加」をクリックします。

4 「Standard TCP/IP Port」を選択し、「新しいポート」をクリックします。

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されます。

5 「プリンタードライバーをまだインストールしていない場合」の「Windows® XP、Windows Server® 2003 の場合」の手順 7 ~ 10 P.3-7 を実行します。

6 「プリンタ ポート」ダイアログボックスおよび本製品のプロパティ画面を閉じます。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ネットワークプリンターとして使う (Macintosh®)

概要

本製品は Mac OS® X 10.3.9 以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されている本製品を簡単に使用できるようになります。

簡易ネットワーク設定機能を使う前に、プリンタードライバーをインストールする必要があります。「かんたん設置ガイド」の手順にしたがってドライバーのインストールを進めてください。自動的にネットワークの設定が完了します。IP アドレスや本製品のネットワーク構成を手動で設定する必要はありません。

Macintosh® プリンタードライバーを使う

Macintosh® プリンタードライバーを使用する場合は、次の手順でプリンタードライバーを選択します。

Mac OS® X 10.3.9-10.4.x の場合

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 [移動] メニューから [アプリケーション] を選択します。
- 3 「ユーティリティ」をクリックします。
- 4 「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックします。
- 5 [追加] をクリックします。
 - Mac OS® X 10.3.9 の場合は、手順 6 に進んでください。
 - Mac OS® X 10.4.x 以降の場合は、手順 7 に進んでください。
- 6 右の画面の通りに選択します。



はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

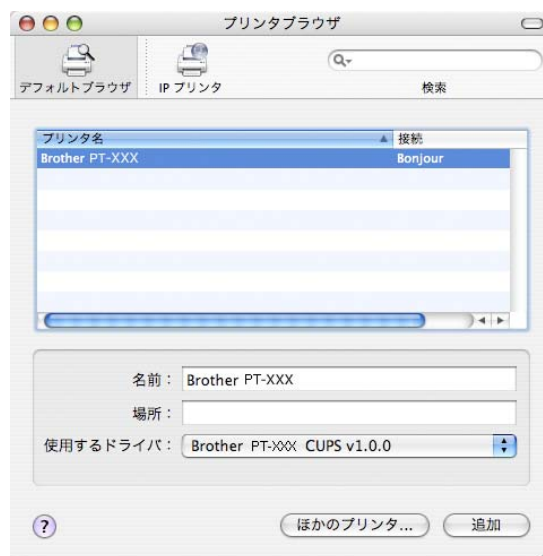
7 本製品を選択し、[追加] をクリックします。

本製品が利用できるようになります。

MAC OS® X 10.3.9 の場合

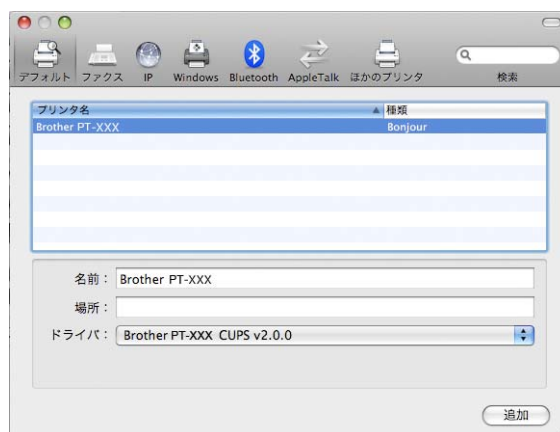


MAC OS® X 10.4.x の場合



Mac OS® X 10.5.x - 10.6 の場合

- 1 本製品の電源を入れます。
- 2 アップルメニューからシステム環境設定を選択します。
- 3 プリントとファクスをクリックします。
- 4 プリンターを追加するには、**[+]** ボタンをクリックします。
- 5 「デフォルト」タブ内の、**Brother PT-XXX** (XXX は、お使いのモデル名です) を選択して、**[追加]** をクリックします。



はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

6

プリンターが正常に追加されていることを確認してください。これで、本製品をご使用になれます。



● その他の情報源

本製品の IP アドレスの設定方法については、2 章の「ネットワークの設定」を参照してください。手動設定の詳細については、「取扱説明書」を参照してください。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

第4章

こんなときは

トラブルシューティング.....4-2

概要.....	4-2
一般的な問題.....	4-2
接続と設定の問題.....	4-3
印刷の問題.....	4-5
プロトコル固有の問題.....	4-6
ファイアウォールの問題.....	4-8

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

トラブルシューティング

概要

本製品を使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。問題が解決しない場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://solutions.brother.co.jp>）を参照してください。

問題の種類を以下の 5 つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- 一般的な問題 **P.4-2**
- 接続と設定の問題 **P.4-3**
- 印刷の問題 **P.4-5**
- プロトコル固有の問題 **P.4-6**
- ファイアウォールの問題 **P.4-8**

一般的な問題

● CD-ROM を挿入しても自動的に開始しない (Windows® のみ)

ご使用のパソコンが自動起動に対応していないと、CD-ROM を挿入した後にメニューが自動的に表示されません。この場合は、[マイコンピュータ※ 1] から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、画面を表示させてください。

※ 1 Windows Vista® の場合は [コンピュータ] です。

● 本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする方法

「ネットワーク設定をリセットする」を実行します。 **P.2-3**

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● ネットワークの接続と設定を確認する

ネットワークプリントソフトウェアのセットアップ中、またはブラザープリンタードライバーのインストールで、ブラザープリントサーバーが見つからない場合は、以下の手順で確認します。

1 本製品の電源が入っていて、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

2 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

- 本製品に IP アドレスが正しくロードされていることを確認します。
プリンター設定一覧を印刷して、IP アドレスを調べることができます。「プリンター設定一覧を印刷する」[P.2-4](#) を参照してください。
- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。

3 プリンター設定一覧は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

● **TCP/IP** を使用している **Windows®** の場合

パソコンから次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

ping ipaddress

ipaddress は本製品の IP アドレスです。

本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が正しく返される場合は、「プロトコル固有の問題」[P.4-6](#) の各トラブルシューティングへ進みます。

例) **C:¥>ping 192.168.0.53**

Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255

Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255

Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255

Reply from 192.168.0.53: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.0.53:

Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),

Approximate round trip times in milli-seconds:

Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

- 応答が返らない場合は、「TCP/IP のトラブルシューティング」[P.4-6](#)へ進みます。

例) C:¥>ping 192.168.0.53

Pinging 192.168.0.53 with 32 bytes of data:

Request timed out.

Request timed out.

Request timed out.

Request timed out.

Ping statistics for 192.168.0.53:

Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),

● TCP/IP を使用している Macintosh® の場合

- ① [移動] メニューから [アプリケーション] を選択します。
- ② 「ユーティリティ」をクリックします。
- ③ 「ターミナル」をダブルクリックします。

ターミナル画面から次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

ping ipaddress

ipaddress は本製品の IP アドレスです。

本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

4

手順 1 ～ 3 までを試しても正常に動作しない場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし [P.2-3](#)、最初から設定をやり直してください。

5

Windows® の場合でインストールが正しくできなかった場合は、ファイアウォールが本製品とのネットワークに必要な接続を阻んでいる可能性があります。

この場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしプリンタードライバーを再インストールする必要があります。

プリンタードライバーを再インストールし、正常に印刷できることを確認したら、ファイアウォールの設定を有効に戻します。

ファイアウォールの解除の方法については、「ファイアウォールの問題」[P.4-8](#)を参照してください。

印刷の問題

プリントサーバーのステータスと設定を確認してください。以下の手順で確認します。

1 本製品の電源が入っていて、オンラインであり、印刷できる状態であることを確認します。

2 「プリンター設定一覧を印刷する」[P.2-4](#) を印刷し、以下について確認します。

- IP アドレスがネットワークに対して正しく設定されていることを確認します。
- IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないことを確認します。
- 本製品に IP アドレスが正しくロードされていることを確認します。
- ネットワーク上のノードで、この IP アドレスが使用されていないことを確認します。

3 プリンター設定一覧は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行します。

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

● **TCP/IP** を使用している **Windows®** の場合

パソコンから次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

ping ipaddress

ipaddress は本製品の IP アドレスです。

本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

- 応答が返らない場合は、手順 4 へ進みます。

● **TCP/IP** を使用している **Macintosh®** の場合

① [移動] メニューから [アプリケーション] を選択します。

② 「ユーティリティ」をクリックします。

③ 「ターミナル」をダブルクリックします。

ターミナル画面から次のコマンドを実行し、本製品への ping を確認します。

ping ipaddress

ipaddress は本製品の IP アドレスです。

本製品に IP アドレスがロードされるまでに、IP アドレスの設定後最大 2 分間程度かかる場合があります。

4 手順 1 ～ 3 までを試しても正常に動作しない場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし [P.2-3](#)、最初から設定をやり直してください。

● **印刷中のエラー**

他のユーザーが大量のデータ（例：多量のページ）を印刷している間に印刷を実行すると、本製品は実行中の印刷が終了するまで印刷ジョブを受け付けることができません。

印刷ジョブの待ち時間を超えると、エラーメッセージを返します。このようなときは、他のユーザーのジョブが終了した後に印刷を再度実行してください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● TCP/IP のトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークに問題がなく、TCP/IP を使用して本製品に正しく印刷できない場合は、以下の手順で確認します。



設定エラーによる原因をなくすため、確認の前に以下の手順を行います。

- ・ 本製品の電源を切ります。→電源を入れます。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認します。

- ① 本製品に IP アドレスが正しく設定されているか確認します。
「プリンター設定一覧を印刷する」[P.2-4](#) を参照してください。
- ② ネットワーク上で本製品に設定した IP アドレスが重複して使用されていないことを確認します。
本製品のネットワークケーブル (LAN ケーブル) を外して、ネットワーク上のパソコンの MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトから ping を実行し、タイムアウトになることを確認します。

2 本製品に設定した IP アドレスが変わっていないか確認します。

本製品に IP アドレスを指定して使用しようとした場合、間違いなく指定しているにもかかわらず、ping が通らなかったりする場合があります。IP アドレスを指定する場合は、あらかじめ、取得方法を「static (固定)」に変更してから IP アドレスを指定してください。

3 TCP/IP が本製品で使用する設定になっていることを確認します。

4 RARP を使用した場合は、次の項目を確認します。

- UNIX ホストコンピュータで、rarpd、rarpd -a、または同等のコマンドを使用して rarp デモンが起動していることを確認します。
- /etc/ethers ファイルに、正しい MAC アドレス (イーサネットアドレス) が記述されていることを確認します。
- ノード名が /etc/hosts ファイル内の名称と一致していることを確認します。

5 BOOTP を使用した場合は、BOOTP が有効になっていることを確認します。

6 ホストコンピュータと本製品が、どちらも同じサブネット上に存在することを確認します。

サブネットが異なる場合は、両デバイス間でのデータの送受信が行えるようにルータが設定されていることを確認します。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● ウェブブラウザのトラブルシューティング

1 ウェブブラウザを使用してネットワークプリンターに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定を確認します。

プロキシを使用しないように設定し、必要に応じてネットワークプリンターの IP アドレスを入力します。

ネットワークプリンターの接続時に、毎回パソコンが ISP やプロキシサーバーへの接続を試行しなくなります。

2 使用しているウェブブラウザが適しているか確認します。

- Windows® の場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 2.0 以降、Macintosh® の場合は Safari 1.2 以降を推奨いたします。
- どのウェブブラウザの場合も、JavaScript およびクッキーを有効にして使用してください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ファイアウォールの問題

「インターネット接続ファイアウォール (Windows® ファイアウォール)」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

- TCP/IP ピアツーピア印刷：印刷ができない場合があります。次の URL を参照してください。
サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)
(<http://solutions.brother.co.jp/>)
- ドライバーインストール：プリンターの検索ができない場合があります。
- BRAdmin Light：プリンターの検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。ただし、変更設定はセキュリティポリシーによって適切、不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。それ以外の詳細につきましては、次の URL を参照してください。

サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://solutions.brother.co.jp/>)

● Windows Vista®、Windows® 7 の場合

＜ドライバーインストール時にプリンターの検索ができない場合＞

● インターネット接続ファイアウォールを無効にする

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

1

Windows Vista® の場合

[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。

Windows® 7 の場合

[スタート] メニューから [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。

2

Windows Vista® の場合

[設定の変更] をクリックします。

Windows® 7 の場合

[通知設定の変更] をクリックします。

Windows Vista® の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3

Windows Vista® の場合

管理者権限のあるユーザーの場合は、[続行] をクリックします。

管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

Windows® 7 の場合

管理者アカウントのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

4

Windows Vista® の場合

「全般」タブで「無効（推奨されません）」を選択します。

Windows® 7 の場合

「ホームまたは社内ネットワークの場所の設定」と「パブリックネットワークの場所の設定」の両方で、「**Windows** ファイアウォールを無効にする（推奨されません）」を選択します。

5

「OK」ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。



ブラザーインストーラー、プリンタードライバーなどのインストールが完了したら、ファイアウォールの設定を有効に戻してください。

＜**BRamin Light** でプリンターの検索ができない場合＞

- インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

1

Windows Vista® の場合

「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット」－「**Windows** ファイアウォール」の順にクリックします。

Windows® 7 の場合

「スタート」メニューから「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「**Windows** ファイアウォール」の順にクリックします。

2

Windows Vista® の場合

「設定の変更」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

Windows® 7 の場合

「**Windows** ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」をクリックします。

3

Windows Vista® の場合

管理者権限のあるユーザーの場合は、「続行」をクリックします。

管理者権限のないユーザーの場合は、管理者アカウントのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「例外」タブをクリックします。

Windows® 7 の場合

「設定の変更」をクリックします。

管理者のパスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、確認情報を提供します。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

4

Windows Vista® の場合

「プログラムの追加」ボタンをクリックします。

Windows® 7 の場合

「別のプログラムの許可」をクリックします。

5

「プログラムの追加」ウィンドウで「**BRAdmin Light**」を選択します。

6

Windows Vista® の場合

「プログラムの追加」ウィンドウの左下の「[スコープの変更]」ボタンをクリックします。

Windows® 7 の場合

「プログラムの追加」ウィンドウの左下の「[ネットワークの場所の変更]」ボタンをクリックします。

7

Windows Vista® の場合

「スコープの変更」ウィンドウで「ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ」を選択します。

Windows® 7 の場合

「ネットワークの場所の種類の選択」ウィンドウで「ホーム / 社内（プライベート）」のチェックボックスにチェックを入れ、「パブリック」のチェックボックスからチェックを外します。

[OK] ボタンをクリックして、「ネットワークの場所の種類を選択」の画面を閉じます。

8

Windows Vista® の場合

[OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

ローカルネットワークで複数の Windows Vista® をインストールしたパソコンから本製品を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows Vista® のファイアウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

Windows® 7 の場合

（「プログラムの追加」ウィンドウで）[追加] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● Windows® XP Service Pack2 以降の場合

＜ドライバーインストール時にプリンターの検索ができない場合＞

● インターネット接続ファイアウォールを無効にする

※ ファイアウォール機能を無効にした場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。
あらかじめご了承ください。

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット接続] – [**Windows** ファイアウォール] の順にクリックします。

2 [全般] タブが選択されている画面で、「無効（推奨されません）」を選択します。
[OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。



ブラザーインストーラー、プリンタードライバーなどのインストールが完了したら、ファイアウォールの設定を有効に戻してください。

＜**BRAdmin Light** でプリンターの検索ができない場合＞

● インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット接続] – [**Windows** ファイアウォール] の順にクリックします。

2 [例外] タブをクリックします。

3 [プログラムの追加] ボタンをクリックします。

4 「プログラムの追加」ウィンドウで、「**BRAdmin Light**」を選択します。

5 「プログラムの追加」ウィンドウの左下の [スコープの変更] ボタンをクリックします。

6 「スコープの変更」ウィンドウで、「ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ」を選択します。

7 [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

ローカルネットワークで複数の Windows® XP をインストールしたパソコンから本製品を利用する場合、それぞれのパソコンに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合は Windows® XP のファイアウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● アンチウイルスソフトの問題

市販のアンチウイルスソフト（ウイルスバスター™、Norton AntiVirus™ など）でパーソナルファイアウォール機能が提供されている場合も、Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7 と同様の影響を受けます。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

第 5 章

付録

ユーティリティ以外から IP アドレスを設定する5-2

概要	5-2
IP アドレスの設定方法	5-3

BRAdmin Professional で管理する5-5

BRAdmin Professional をインストールする	5-5
ネットワークの設定をする	5-6

オートマティックドライバインストーラーを使う (Windows® のみ)5-8

オートマティックドライバインストーラーが対応するプリンターの接続方法	5-8
オートマティックドライバインストーラーを使用する	5-10

その他のプリンタードライバのインストール方法 5-12

ネットワークプリンターキューと共有を使用する	5-12
------------------------------	------

仕様5-13

プリントサーバー	5-13
動作環境	5-14
管理ユーティリティ	5-14

オープンソースライセンス公開5-15

Open SSL について	5-15
---------------------	------

用語集と索引5-17

用語集	5-17
索引	5-20

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ユーティリティ以外から IP アドレスを設定する

概要

TCP/IP を使用するには、ネットワーク上の機器に固有の IP アドレスを設定する必要があります。この章では、本製品の IP アドレスの設定方法について説明します。

● IP アドレスの設定



IP アドレスの自動設定機能 (APIPA)

APIPAが使用可能で、DHCPなどのIPアドレス配布サーバーがない環境では、169.254.0.1 ~ 169.254.255.254 の範囲で自動的に IP アドレスが割り当てられます。

お買い上げ時は、APIPA は使用可能に設定されています。

APIPA を使用しない場合のお買い上げ時の IP アドレスは 192.0.0.192 です。お買い上げ時の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。IP アドレスの変更は、次のいずれかの方法で設定できます。

- DHCP を使用して自動的に設定する **P.5-3**
- APIPA を使用して自動的に設定する **P.5-3**
- RARP (rarp) を使用する **P.5-3**
- BOOTP を使用する **P.5-4**
- 手動で IP アドレスを設定する：
BRAdmin Light **P.2-5**
BRAdmin Professional (Windows® のみ) **P.5-6**

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

IP アドレスの設定方法

● 手動で IP アドレスを設定する：BRAdmin Light / BRAdmin Professional

TCP/IP に対応していて、ネットワークと本製品の設定を管理できます。また、本製品のファームウェアのアップデートにも利用できます（BRAdmin Professional のみ）。

BRAdmin Light および BRAdmin Professional では、本製品との接続に TCP/IP を使用して、IP アドレスを変更できます。本製品のお買い上げ時の IP アドレスが、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適していない場合は、IP アドレスを変更してください。

ただし、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、自動的に IP アドレスが設定されます。お買い上げ時は、APIPA の機能が有効になっています。

詳しくは、「BRAdmin Light で設定する」[P.2-5](#) または「BRAdmin Professional で管理する」[P.5-5](#) を参照してください。

● DHCP を使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IP アドレス自動割り当て機能の 1 つです。ネットワーク上に DHCP サーバーがある場合は、その DHCP サーバーから本製品に自動的に IP アドレスが割り当てられます。

● APIPA を使用して自動的に設定する

DHCP サーバーが利用できない場合は、本製品の IP アドレスの自動設定機能（APIPA）によって IP アドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本製品の IP アドレスを 169.254.1.0 ~ 169.254.255.254 の範囲、サブネットマスクは 255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは 0. 0. 0. 0 に自動的に設定します。

お買い上げ時は、APIPA は使用可能に設定されています。

● RARP を使用して IP アドレスを設定する

UNIX ホストコンピュータで Reverse ARP（RARP）機能を使用し、本製品のプリントサーバーの IP アドレスを設定することができます。

以下のエントリ例と同じような行を追加入力して、/etc/ethers ファイルを編集してください（ファイルが存在しない場合は、新しいファイルを作成します）。

例) **00:80:77:31:01:07 BRN008077310107**

00:80:77:31:01:07 は本製品の MAC アドレス、**BRN008077310107** は本製品のノード名です。

お使いの本製品の設定のものを入力してください。（ノード名は、/etc/hosts ファイル内の名前と同じでなければなりません）。

rarp デーモンが実行されていない場合は、実行します。

使用環境により、コマンドは rarpd、rarpd -a、in.rarpd -a になります。詳細情報については、man rarpd と入力するか、システムのマニュアルを参照してください。Berkeley UNIX ベース環境で rarp デーモンを確認するには、以下のコマンドを入力してください。

```
ps -ax | grep -v grep | grep rarpd
```

AT&T UNIX ベース環境では、以下のコマンドを入力してください。

```
ps -ef | grep -v grep | grep rarpd
```

本製品の電源を入れると、rarp デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● BOOTP を使用する

BOOTP は、RARP 設定に必要です。

BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、ホストコンピュータに BOOTP がインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の `/etc/services` ファイルに BOOTP がリアルサービスとして記述されていなければなりません。man `bootpd` と入力するか、システムのマニュアルを参照してください。

通常、BOOTP は `/etc/inetd.conf` ファイルを使用して起動されますので、このファイルの `bootp` エントリの行頭にある `#` を削除して、この行を有効にしておく必要があります。

一般的な `/etc/inetd.conf` ファイル内の `bootp` エントリを以下に示します。

```
#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i
```



システムによって、このエントリには `bootp` ではなく `bootps` が使用されている場合があります。

BOOTP を有効にするには、エディターを使用して行頭の `#` を削除します。`#` がない場合は、BOOTP はすでに有効になっています。

次に、設定ファイル（通常は `/etc/bootptab`）を編集し、ネットワークインターフェイスの名前、ネットワークの種類（Ethernet の場合は 1）、MAC アドレス（イーサネットアドレス）、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルを参照してください。

一般的な `/etc/bootptab` エントリの例を、以下に示します。

```
BRN008077310107 1 00:80:77:31:01:07 192.189.207.3
```

および

```
BRN008077310107:ht=ethernet:ha=008077310107:\
```

```
ip=192.189.207.3:
```

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに回答しないものがあります。そのような場合には、ホスト上に `null` ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、本製品の電源を入れると BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

BRAdmin Professional で管理する

BRAdmin Professional をインストールする

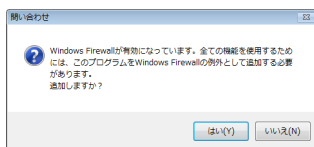
BRAdmin Professional は、ネットワークに接続されているブラザー製品の管理をするためのユーティリティです。Windows® システムが稼動するパソコンからネットワーク上のブラザー製品の検索、状態の閲覧、ネットワーク設定の変更ができます。

1 **BRAdmin Professional** をサポートサイト(ブラザーソリューションセンター) (<http://solutions.brother.co.jp/>) からダウンロードします。

2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

3 画面の指示にしたがってインストールします。

Windows ファイアウォールが有効な場合は、" このプログラムを Windows Firewall の例外として追加する必要があります。追加しますか？ " というメッセージが表示されます。お使いの環境に合わせて、[はい] または [いいえ] を選択します。



- Windows® XP で、「インターネット接続ファイアウォール (Windows® ファイアウォール)」を有効にしている場合は、BRAdmin Professional の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。
- アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Professional の「稼働中のデバイスの検索」機能が利用できないことがあります。利用する場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ネットワークの設定をする

TCP/IP を利用して印刷するには、本製品に IP アドレスを割り当てる必要があります。

使用するパソコンと同じネットワーク上に本製品が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。パソコンと本製品の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

ゲートウェイの設定

メモ ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータの IP アドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書を参照してください。

IP アドレスは以下の方法で割り当てます。

- IP アドレス配布サーバーを利用している場合
本製品は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、本製品が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。
- IP アドレス配布サーバーを利用していない場合
DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合は、APIPA (AutoIP) 機能により、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdmin Professional を使用して本製品の IP アドレスを設定してください。

お買い上げ時の IP アドレス

✖ IP アドレス配布サーバーを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下の通りです。

- IP アドレス：169.254.xxx.xxx（APIPA 機能による自動割当）
現在の設定値を調べるときは、「プリンター設定一覧」を印刷します。詳しくは、「プリンター設定一覧を印刷する」**P-2-4** を参照してください。

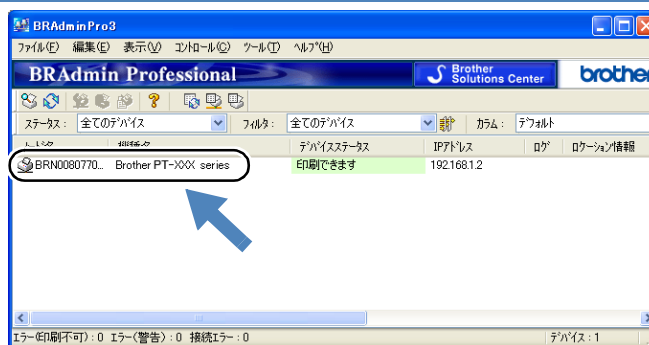
ノード名

メモ プリンター設定一覧にはノード名が印刷されます。お買い上げ時のノード名は“BRNxxxxxxxxxxxx”です。

本製品とパソコンをネットワークに接続した状態で、**BRAdmin Professional**を起動します。

[スタート] メニューから [すべてのプログラム (プログラム)] - [Brother Administrator Utilities] - [Brother BRAdmin Professional 3] - [BRAdmin Professional 3] の順にクリックします。

本製品を選択します。



[コントロール] メニューから [デバイスの設定] をクリックします。

4 「パスワード」を入力します。



お買い上げ時のパスワードは“access”に設定されています。

5 本製品の設定が変更できます。



- DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用せずに、お買い上げ時の設定のまま本製品を使用している場合は、APIPA機能によってIPアドレスが自動的に割り当てられ、BRAdmin Professional に表示されます。
- 「プリンター設定一覧」を印刷し、現在設定されているノード名や MAC アドレス（イーサネットアドレス）を調べることができます。「プリンター設定一覧」の印刷方法は、「プリンター設定一覧を印刷する」[P.2-4](#) を参照してください。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

オートマティクドライバーインストーラーを使う (Windows® のみ)

プリンタードライバーをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続で使用するオリジナルドライバーを作成でき、ユーザーに配布することができます。配布インストーラーは、オペレーティングシステム (OS) ごとの作成が必要です。

プリンタードライバーとソフトウェア (ピアツーピア接続の場合) を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタードライバーの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。

このソフトウェアは Windows® 専用です。

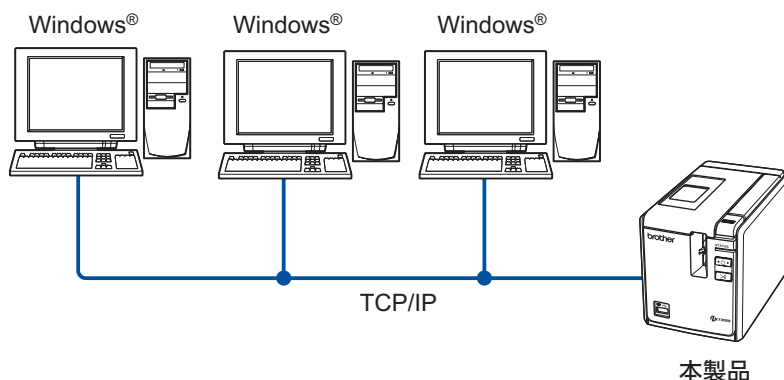
詳しい情報とダウンロードについては、次の URL をご覧ください。 <http://solutions.brother.co.jp/>

オートマティクドライバーインストーラーが対応するプリンターの接続方法

オートマティクドライバーインストーラーが対応する本製品の接続方法は、次の 3 種類です。

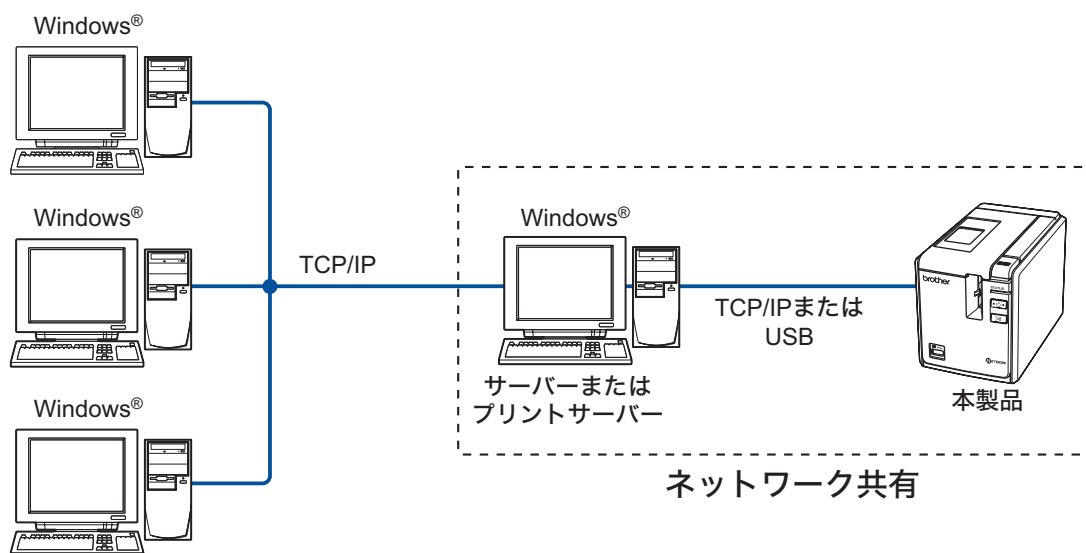
ピアツーピア接続

本製品はネットワークに接続されていますが、印刷データの管理などは行わず、直接本製品に印刷します。



ネットワーク共有

本製品はネットワークに接続され、サーバーまたはプリントサーバーが印刷データの管理などを行い、本製品に印刷します。



はじめに

ネットワーク
設定

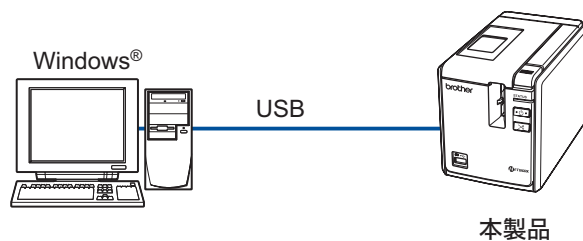
ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

ローカルプリンター（USB）

本製品とパソコンを USB ケーブルを使用して接続します。



はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

オートマティクドライバーインストーラーを使用する

1 「オートマティクドライバーインストーラー」を起動すると、「オートマティクドライバーインストーラーへようこそ」画面が表示されます。[次へ] をクリックします。

2 「P-touch/QL/TD」を選択し、[次へ] をクリックします。

3 プリンターの接続方法を選択し、[次へ] をクリックします。

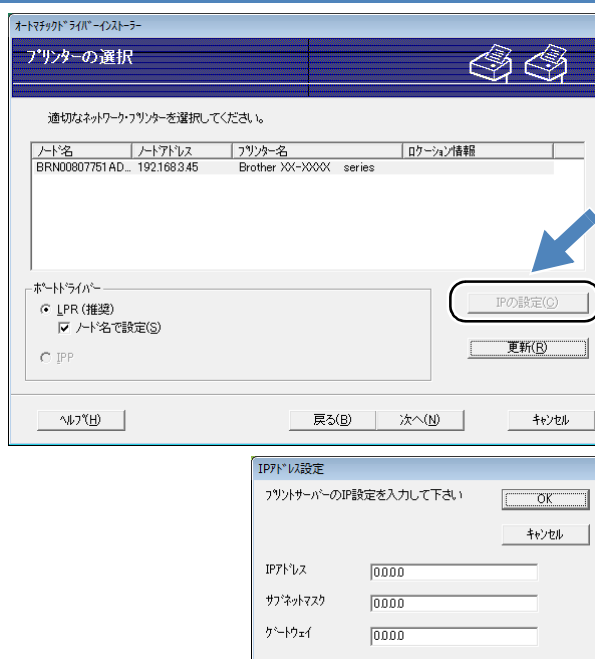
4 必要な項目を選択し、画面上の指示に従います。

手順 3 で「ブラザーピアツーピアネットワークプリンタ」を選択した場合は、右の画面が表示されます。

・ IP アドレスの設定

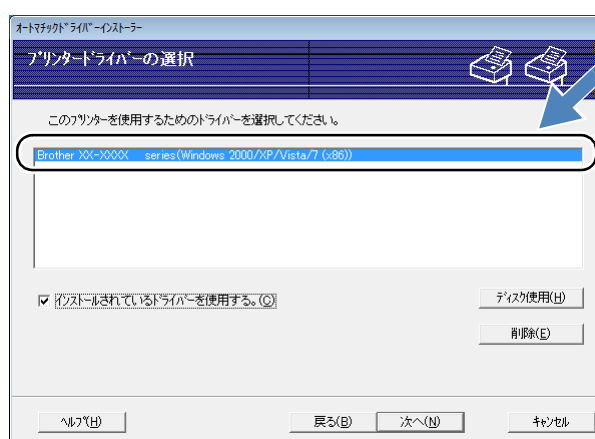
プリンターに IP アドレスがない場合は、リストからプリンターを選択し、[IP の設定] をクリックし、IP アドレスを変更できます。

表示された「IP アドレス設定」画面で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどの情報を設定することができます。



5 プリンターのリストから本製品を選択し、[次へ] をクリックします。

使用したいプリンタードライバーがパソコンにインストールされていない場合は、[ディスク使用] をクリックし、プリンタードライバーのファイルの場所を指定します。



はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

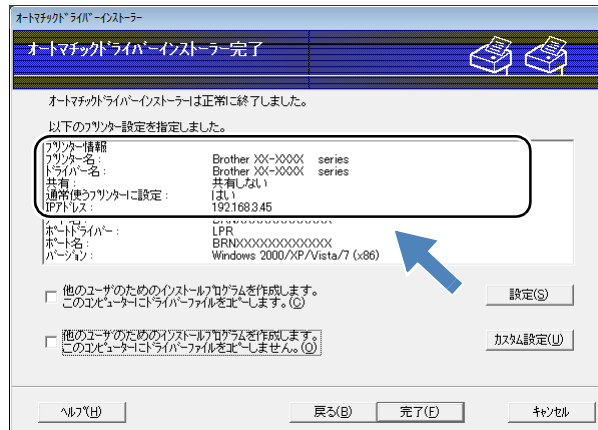
6

プリンター設定詳細画面が表示されたら、ドライバーの設定内容を確認してください。

● 実行ファイルの作成

オートマチックドライバーインストーラーを使って、自動実行 .EXE ファイルを作成することもできます。自動実行 .EXE ファイルは、ネットワークに保存したり、CD-ROM や USB メモリにコピーしたり、他のユーザーに E メールで送信することもできます。実行後は、ドライバーとその設定が自動的にインストールされます。

- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーします。」
ご使用のパソコンにドライバーをインストールし、ご使用のパソコンと同じオペレーティングシステム (OS) の他のパソコンで実行する自動実行 .EXE ファイルを作成する場合に選択します。
- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピュータにドライバファイルをコピーしません。」
ご使用のパソコンにドライバーが既にインストールされているため、ドライバーを再度インストールせず、ご使用のパソコンと同じオペレーティングシステム (OS) の他のパソコンで実行する自動実行 .EXE ファイルのみを作成する場合に選択します。



- 「キュー」に基づくネットワークで作業しており、実行ファイルに設定するものと同じプリンターキューにアクセスできない他のユーザーのための実行ファイルを作成する場合は、ドライバーを遠隔パソコンにインストールしたときに、LPT1 印刷に初期設定されます。
- 手順 5 で「インストールされているドライバを使用する」にチェックを入れた場合は、[カスタム設定] をクリックして、用紙サイズなどプリンタードライバーの初期設定を変更することができます。

7

[完了] をクリックします。

ご使用のパソコンにプリンタードライバーがインストールされます。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

その他のプリンタードライバーのインストール方法

ネットワークプリンターキューと共有を使用する



- ネットワークに共有プリンターとして接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、キューと共有名を確認してください。
- 実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了しておいてください。

1

パソコンの電源を入れます。

管理者権限をもつユーザーでログオンします。

2

本製品に付属の **CD-ROM** をパソコンの **CD-ROM** ドライブにセットします。

オープニング画面が表示されます。



Windows Vista® の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、[許可] をクリックします。

3

[個別インストール] をクリックします。

4

[プリンタドライバ] をクリックします。

5

インストーラーが立ち上がります。[次へ] をクリックします。

6

「ネットワーク共有プリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。

7

本製品のキューを選択し、[OK] をクリックします。



本製品のネットワーク上の位置や名前が分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8

[完了] をクリックします。



以上でプリンタードライバーのインストールは完了です。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

仕様

プリントサーバー

項目	内容	
ネットワークノード タイプ	PT-9800PCN	NC-14036h
対応オペレーティング システム (OS)	Windows [®] XP、Windows [®] 7、Windows Vista [®] 、 Windows Server [®] 2003/2008 Mac OS [®] X 10.3.9-10.6	
プロトコル	TCP/IP : IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA (Auto IP)、 WINS、NetBIOS name resolution、DNS Resolver、 mDNS、LPR/LPD、Custom Raw ポート/ポート 9100、 FTP Server、TELNET、SNMPv1、HTTP server、TFTP client and server、ICMP
ネットワークタイプ	10/100BASE-TX イーサネットネットワーク	
ネットワーク印刷	Windows [®] XP、Windows [®] 7、Windows Vista [®] 、 Windows Server [®] 2003/2008 : TCP/IP Mac OS [®] X 10.3.9-10.6 : Bonjour、TCP/IP	

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

オペレーティングシステム (OS)		必須 CPU 速度	必須 メモリ	推奨 メモリ	必要 ディスク 容量
Windows®	Windows® XP Home Edition	Intel® Pentium® II 同等	128 MB	256 MB	50 MB
	Windows® XP Professional				
	Windows Server® 2003	Intel® Pentium® III 同等	256 MB	512 MB	
	Windows Vista®	Intel® Pentium® 4 同等 / 64 ビット対応 CPU (Intel® 64/AMD64)	512 MB	1 GB	
	Windows Server® 2008	Intel® Pentium® 4 同等 / 64 ビット対応 CPU (Intel® 64/AMD64)	512 MB	2 GB	
	Windows® 7	Intel® Pentium® 4 同等 / 64 ビット対応 CPU (Intel® 64/AMD64)	1 GB (32 ビット) または 2 GB (64 ビット)	1 GB (32 ビット) または 2 GB (64 ビット)	
	Windows Server® 2008 R2	64 ビット対応 CPU (Intel® 64/AMD64)	512 MB	2 GB	
Macintosh® *	Mac OS® X 10.3.9	PowerPC G3 (350 MHz 以上) /G4/G5	128 MB	256 MB	50 MB
	Mac OS® X 10.4x	PowerPC G3 (350 MHz 以上) /G4/G5、Intel® Core™ Solo/Duo	256 MB	512 MB	50 MB
	Mac OS® X 10.5.x	PowerPC G4 (867 MHz 以上) /G5、Intel® Core™ Solo/Duo	512 MB	1 GB	50 MB
	Mac OS® X 10.6	Intel® Core™ Solo/Duo	1 GB	2 GB	50 MB

* サードパーティ製の USB ポートには対応していません。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

管理ユーティリティ

ユーティリティ	対応オペレーティングシステム (OS)
BRAAdmin Light	Windows® XP、Windows® 7、Windows Vista®、 Windows Server® 2003/2008 Mac OS® X 10.3.9-10.6
BRAAdmin Professional * 1	Windows® XP、Windows® 7、Windows Vista®、 Windows Server® 2003/2008

* 1 最新の BRAAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
（<http://solutions.brother.co.jp/>）からダウンロードできます。

オープンソースライセンス公開

Open SSL について

OpenSSL License

Copyright © 1998-2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

用語集

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。銅線の一般加入者電話（アナログ）回線を利用して、数 M ～数 + Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式です。

● APIPA

Automatic Private IP Addressing の略。IP アドレスの自動的な割り当て管理機能です。最初に自身のシステムに割り当てる IP アドレスを「169.254.1.0 ～ 169.254.255.254」の範囲からランダムに 1 つ選択します。そして、ARP 要求をネットワークにブロードキャストすることによって、その IP アドレスがほかのシステムで利用されていないかどうかを確認します。もし他のシステムから ARP の応答が返ってくれば、その IP アドレスは使用中であるとみなし、別の IP アドレスで再試行します。このようにして未使用の IP アドレスを見つけ、自身のシステムに割り当てることによって、IP アドレスが重複しないことを保障します。

● ARP

Address Resolution Protocol の略。IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocol の略。ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバーアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。BOOTP を利用すれば、ネットワーククライアントの IP アドレスやノード名、ドメイン名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスなどの情報を、クライアントの起動時に動的に割り当てられるようになります。TCP/IP ネットワークでは、各クライアントごとにこれらのネットワーク情報を設定する必要がありますが、BOOTP を利用すれば、クライアントの管理をサーバー側で集中的に行えるようになります。その後一部を改良された DHCP が開発され、広く利用されるようになっています。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。DHCP は、IP アドレスやサーバーアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP（BOOTstrap Protocol）をベースとする上位互換規格です。

BOOTP は、クライアントの IP アドレスやノード名などはあらかじめ決定しておく必要がありましたが、DHCP では、クライアントがネットワークに参加するためのすべてのパラメーター（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ドメイン名など）を動的に割り当てられるようになっています。サービスを実行するにはサーバーもしくは、その機能を有するルータが必要です。

● DNS サーバー

Domain Name System という体系で命名されたホスト名（ドメイン名）から IP アドレスを調べるためのサービスです。ネットワーク上の資源を管理・検索するためのシステムです。インターネットの IP アドレスの名前の解決に広く利用されています。

● FTTH

Fiber To The Home の略。電話局から各家庭までの加入者線を結ぶアクセス網を光ファイバ化し、高速な通信環境を構築する計画のことを指します。

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● LAN

Local Area Network の略。同一フロア、同一のビル内などにあるパソコン同士を、Ethernet などの方法で接続したネットワークのことを指し、閉鎖されたネットワークという位置付けがあります。

● LPR/LPD

TCP/IP ネットワーク上で通常用いられる印刷プロトコルです。

● MAC アドレス（イーサネットアドレス）

OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェイスカードのアドレス。Media Access Control の略。機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

● ping

Packet InterNetwork Groper の略。相手先ホストへの到達可能性を調べるコマンドです。

● RARP

Reverse Address Resolution Protocol の略。TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

● SNMP

Simple Network Management Protocol の略。簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) は、TCP/IP ネットワーク内のパソコン、プリンター、端末を含めたネットワークデバイスの管理に用いられます。

● TCP/IP

Transmission Control Protocol / Internet Protocol の略。インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するするプロトコル（TCP）と、通信経路（IP）から構成されています。OSI 参照モデルでは TCP はレイヤー 4、IP はレイヤー 3 に対応しています。

● WINS

Windows® Internet Name Service の略。Windows® 環境で、ネームサーバーを呼び出すためのサービスです。サービスを実行するにはサーバーが必要です。

● WWW

World Wide Web の略。インターネットでの情報検索システム、サービスシステムのひとつです。

● カテゴリ

LAN ケーブルの品質を指します。カテゴリ 5 は 100BASE-TX で利用されています。将来ギガビット・イーサネット（1000BASE-T）によるネットワークを想定する場合は、カテゴリ 6 を選択することが推奨されています。カテゴリ 5 で保証される周波数帯域は 100MHz までですが、カテゴリ 6 では 250MHz まで保証されています。また、LAN ケーブルは UTP ケーブルと呼ばれる場合もあり、UTP は Unshielded Twisted Pair の略でより線のことを指しています。シールド付きのものは、STP ケーブルと呼ばれます。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

● ゲートウェイアドレス

ネットワークとネットワークを接続する際の、外部のネットワークとの接点となるホストの IP アドレスを指します。別名「デフォルトルータ」や、単に「ルータ」と呼ばれる場合もあります。ルータは、同一ネットワーク内に存在するホストである面と、他のネットワークにも同時に所属している両面を持っています。

● サブネットマスク

ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。サブネットマスクはクラスごとに固定されています。

クラス A	255.000.000.000
クラス B	255.255.000.000
クラス C	255.255.255.000

ルータの取扱説明書によっては、192.168.1.1 / 255.255.255.0 のことを、192.168.1.1/24 と表記している場合があります。255.255.255.0 を 2 進数に換算すると、先頭から 1 が 24 個並びます。"/24" とは、この事を指します。24bit 以外のマスク値を設定することも可能ですが、IP 管理が複雑になりますので、マスク値は 24bit でご利用することをお勧めします。なお、ローカルネットワークで利用する IP アドレスのことをプライベート IP アドレスと呼び、こちらもクラスがわかれています。

クラス A	010.000.000.000 ~ 010.255.255.255
クラス B	172.016.000.000 ~ 172.031.255.255
クラス C	192.168.000.000 ~ 192.168.255.255

● スイッチング・ハブ

スイッチング機能を持つハブ（集線装置）。パケットをその宛先に応じて振り分け、ネットワークトラフィックを局所化して、ネットワークの全体的な通信バンド幅を増やすことができるのが特徴です。10BASE-T や 100BASE-TX などのネットワークでは、各ネットワーク機器同士をハブを使って相互に接続していますが、Ethernet の通信方式の関係上、ノード数が増えると有効な帯域幅が急速に飽和するという特性を持っています。そこで、実際に通信をするポート同士だけを直結して通信を行い、それ以外のポートへは流れないようにするスイッチング技術が開発されました。これを実装したハブをスイッチング・ハブといいます。

● ノード

node。ネットワークに接続されているパソコンなどの機器を指します。「ノード名」と「ホスト名」は同じ意味です。

● ポート 9100

LPR/LPD と同様に TCP/IP ネットワーク上で通常用いられる印刷プロトコルです。

● ルータ

ネットワーク間（LAN と LAN、LAN と WAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。ルータはインターネット接続されたアドレスを変換し、LAN 内からアクセスできるようにしたり、LAN 内のサーバーを指定したポートを通じて外部に公開したりする NAT（アドレス変換）の機能があります。

はじめに

ネットワーク
設定ネットワーク
印刷

こんなときは

付録

A
APIPA 5-2, 5-3

B
BOOTP 5-4
BRAdmin Light 2-2, 2-5, 5-3
BRAdmin Professional 2-2, 5-3, 5-5

D
DHCP 5-3

F
Firefox 2-10, 4-7

I
Internet Explorer 2-10, 4-7
IP アドレス 1-6, 1-7, 1-8, 5-2, 5-3
IP アドレス配布サーバー 1-6, 2-5, 5-6

L
LPR 3-2

R
RARP 5-3

S
Safari 2-10, 4-7

T
TCP/IP 3-2, 4-3, 4-4, 4-5, 4-6

あ
アンチウイルスソフト 4-12

い
インストール 3-2, 3-10, 5-5
インターネット接続ファイアウォール
..... 4-8, 4-9, 4-11

う
ウェブブラウザ 2-10, 4-7

お
オートマチックドライバーストローラー 5-8

け
ゲートウェイ 1-6, 2-5, 5-6

さ
サブネットマスク 1-7

そ
操作パネル 2-3

と
トラブルシューティング 4-2

ね
ネットワーク LED 4-3
ネットワーク共有 1-4
ネットワークケーブル (LAN ケーブル) 1-9
ネットワーク設定リセット 2-3
ネットワークプリンターの共有形態 1-4

は
ハブ 1-9

ひ
ピアツーピア接続 1-4, 5-8

ふ
ファイアウォール 4-8
プリンター設定一覧 2-4
プリンタードライバ 3-2, 3-10, 3-12
プロトコル 3-2, 4-6

り
リセット 2-3

る
ルータ 1-9

はじめに

ネットワーク
設定

ネットワーク
印刷

こんなときは

付録